

BAtoMA TALK EVENT "窓 - MADO -" 「DESIGN」



表参道ヒルズで開催する BAtoMA information のトークイベント "窓 - MADO -"
11月1日(土)は、デイリープレスがディレクションします。



デイリープレスは、デザインを軸としてライフスタイルにまつわる"もの、こと"についての総合的なPRを行っています。そして、実に才能豊かなクリエイターの方々との出会いがあり、私たち自身いつもたくさんの刺激を受けています。豊かな発想で"ものやこと"を生み出すデザイナー、数多ある生みだされた"もの"の中から逸品を見つけ、独自の組み合わせでその存在に光をあて魅力を引出すスタイリスト、"もの"やつくり手の想いや背景を映し出すフォトグラファー、"ものやこと"そしてそのアイデアを的確にビジュアル化し魅力的に見せるグラフィックデザイナー、社会や環境その場の状況を考察し様々な課題に取り組み空間やしくみをデザインする建築家、小さなアイデアから生まれた"ものやこと"の進む方向を示し、様々なアイデアをまとめていくディレクターなどなど、多くのクリエイターのアイデアや知恵、技術が詰まっています。今回のトークでは、そんな周囲の素晴らしいクリエイターの方々の活動、思考やプロセスをご紹介します。皆さまの様々なシーンにおいてヒントや刺激を得られるような場にしたいと思っています。ぜひ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

11月1日(土) Talk Event "MADO- 窓" 「DESIGN」 directed by *dailypress*
at OMOTESANDO HILLS Space 0

13:00 ~ 「ことばとデザイン」
田部井美奈 (アートディレクター/グラフィックデザイナー)
小林エリカ (作家・マンガ家)

15:00 ~ 「OVER THE RAINBOW - 色の向こうにあるデザイン」
作原文子 (インテリアスタイリスト)
鈴野 浩一 (建築家/トラフ建築設計事務所)
紫牟田 伸子 (編集者/デザインプロデューサー)

17:00 ~ 「With a continuous focus on developing ideas - アイディアの表現」
遠藤 豊 (テクニカルディレクター/ LUFTZUG)
中野 裕之 (映画監督)
田根 剛 (建築家/ DORELL.GHOTMEH.TANE / ARCHITECTS)
ファシリテーター: 友川 綾子 (アトライター)

BAtoMA information

会期: 10/31(金) ~ 11/3 (月・祝)
会場: 表参道ヒルズ本館 B3F スペース オー
入場料: ¥1000/1日 ¥1500/フリーパス
<http://www.batoma.com/information/>

Talk Event "MADO- 窓"

頭の中をのぞきこむような、見知らぬ土地の窓を開ける時のような、わくわくした驚きや発見が得られるトークイベント。各日ディレクターを迎え、「FOOD」「DESIGN」「CITY」「SPACE」4つの角度からアプローチ。それぞれが「いま話を聞きたい!」と思うゲストをコーディネート。ゲストたちが用意する数々の写真や、そこから生まれる会話から、インテリアやライフスタイル、デザインについて考えるきっかけが生まれます。

Profile



田部井 美奈 グラフィックデザイナー・アートディレクター。

1977年埼玉生まれ。2003年より服部一成の事務所に勤務、2014年に独立。

主な仕事にコンセプトショップ「HYPER MARKET」のアートディレクション、雑誌「GINZA」(マガジンハウス)のエディトリアルデザイン、書籍「小林エリカ『マダム・キュリーと朝食を』(集英社)の装丁、音楽イベント「Sound Live Tokyo」の告知物など。ユニット〈kvina〉としての活動も。 <http://minatabei.com>



小林 エリカ 作家・マンガ家。

1978年東京生まれ。著書『マダム・キュリーと朝食を』(集英社)が第27回三島由紀夫賞候補、第151回芥川龍之介賞候補に選出。「放射能」の歴史をめぐるコミック『光の子ども1』アンネ・フランクと実父の日記を巡るノンフィクション『親愛なるキティーたちへ』(共にリトルモア)、作品集『忘れられないの』(青土社)、など。

ユニット〈kvina〉としての活動も。<http://erikakobayashi.com>



佐原文子 インテリアスタイリスト。

岩立通子氏のもとでアシスタントを経験した後、1996年に独立。主に雑誌、カタログ、TV-CM、エキシビション、ショップディスプレイ、舞台などのスタイリングを中心に活動。2007年には「恋するマドリ」で初めての映画美術にも関わる。手掛ける雑誌は、「エル・デコ」「カーサブルータス」などのインテリア誌、「Figaro japon」「Vogue Nippon」などの女性誌から「ブルータス」「Huge」「メンズノンノ」などの男性誌まで幅広く、日本のインテリアスタイリストとして第一線で活躍。リアルな生活感を持たせつつ、柔軟な感性を活かした独自のミックス感、男性女性問わず定評がある。



トラフ建築設計事務所 建築家。

鈴野浩一と禿真哉により2004年に設立。建築の設計をはじめ、ショップのインテリアデザイン、展示会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思考をベースに取り組んでいる。主な作品に「プレートイン クラスカ」「NIKE 1LOVE」「プーリアン」「港北の住宅」「空気の器」など。「光の織機(Canon Milano Salone 2011)」は、エリートデザインアワード最優秀賞に選ばれた。著作に『空気の器の本』、作品集『TORAFU ARCHITECTS 2004-2011 トラフ建築設計事務所のアイデアとプロセス』(ともに美術出版社、2011年)。<http://www.torafu.com/>



紫牟田 伸子 プロジェクトエディター・デザインプロデューサー。

美術出版社、日本デザインセンターを経て2011年個人事務所開設。「ものごとの編集」を軸に、商品企画やコミュニケーションプランニング/デザインプランニング/プロデュースなど、社会や地域に適切にデザインが作用できる状況づくりを目指す。多摩美術大学、桑沢デザイン研究所ほか非常勤講師。主な仕事に、福井市「おいしいキッチン」プロジェクト、「しこく編集学校」、「漆の家」プロジェクトなど。主な共著に『シビックプライド:都市のコミュニケーションをデザインする』(2008年)『ワークショップ:偶然をデザインする技術』(2006年、ともに宣伝会議)、『カラー版:日本デザイン史』(美術出版社、2003年)などがある。



遠藤 豊 LUFTZUG代表・アートディレクター・プロデューサー。

コンテンポラリーダンスを中心に、音楽、映像、デザイン、コンピューターテクノロジーとの関わりを独自に作り出す。02年以降はアートディレクター、プロデューサー、テクニカルコーディネーターとして様々な分野の企画に携わる。05年創造的なディレクションを行うための意思として有限会社ルフトツークを設立。2012年よりルフトツーク・ヨーロッパをアムステルダムに設立。拠点の境目を無くし、感覚の積極的な交流と遍在化を目指す。 <http://www.luftzug.net/>



中野 裕之 映画監督 映像作家

数多くのアーティストの音楽クリップを手がける。世界中のMTVで放映された音楽クリップには、MTVアワード6部門にノミネートされたdeeliteの“Groove is in the heart”をはじめ、リタ・ミツコ、ネグレス・ヴェルト、セイント・エチエンヌ、ポール・ウエラーユニット、System7、Photek他などがあり、日本では今井美樹さんと布袋寅泰さんの映像を多く手がけた。さらにGLAY、MR.children、テイ・トウワ、DREAMS COME TRUEほか多数のJ-POPのスターを手がける。映画、ミュージッククリップ、CM、自然の映像、ドキュメンタリーなど、カッコいい、面白い、美しいを追い求めて見る人をピースにする映像をめざしている。



田根 剛 建築家

1979年東京生まれ。2006年、ダン・ドレル(イタリア)、リナ・ゴットメ(レバノン)と共にDGT(DORELL.GHOTMEH.TANE/ARCHITECTS)をパリに設立。現在『エストニア国立博物館』(2016年完成予定)をはじめ、フランス、スイス、レバノン、日本でプロジェクトが進行中。2012年には新国立競技場国際コンペティションで『古墳スタジアム』がファイナリストに選ばれ国際的な注目を集めた。フランス文化庁新進建築家賞(2008)、ミラノ建築家協会賞受賞(2008)、Red dot Award Winner(2013)、ミラノ・デザイン・アワード2部門受賞(2014)など多数受賞。2012年よりコロンビア大学GSAPP非常勤講師。www.dgtarchitects.com



友川 綾子 ライター・編集者。

1979年生まれ。アートギャラリーや、3331 Arts Chiyodaの立ち上げスタッフなどを経て2010年にフリーランスに。『美術手帖』『CINRANET』などで執筆・編集を手がけるほか、アート系イベントの企画・運営も行う。「どんな人にも分かりやすく、表現活動の本質を伝えたい」と願いつつ、現代アートのフィールドを基軸に活動中。世界のカルチャースポットを訪ねる旅と手作り感あふれる地図集めが趣味。好きな本屋は京都の「三月書房」。